

**令和4年度  
部局別予算要求のポイント**

**令和3年11月  
高山市**

・各部局の要求額は、人件費、繰出金及び予備費等を含んでいません。

# 企 画 部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	150,931	144,220	△ 6,711	△ 4.45

### 主な増減理由

・飛騨高山SDGsパートナーシップセンター負担金の増	8,000千円
・経済センサス（活動調査）の減	△5,990千円
・ラジオ・CATVの番組再編による減	△7,235千円

## 要求に関する基本方針

- 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- SDGs未来都市計画に基づくSDGsの推進
- 大学連携・若者によるまちづくりの推進
- 市政情報の適切な提供と市民意見の聴取

## 要求のポイント

（            ）は前年度予算額

<夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み>  
<着実な計画の推進>

- 大学連携・若者によるまちづくりの推進 19,050千円  
(22,090千円)

大学連携の推進に必要な経費を計上

- ・大学と連携した調査、サテライトキャンパスの設置
  - ・大学連携センターに対する助成、産学金官連携の促進
- 村半（若者等活動事務所）の管理運営に必要な経費を計上
- ・施設の管理運営

- SDGs未来都市計画に基づくSDGsの推進 8,000千円  
(0千円)

飛騨高山SDGsパートナーシップセンター（仮称）を中心としたSDGsの推進に必要な経費を計上

- ・私なりのSDGs宣言制度の運用
- ・SDGsを通じた市民、事業者、各種団体のパートナーシップの構築
- ・SDGs未来都市計画に基づく主要プロジェクトの推進

- 行政情報の提供と公聴事業の推進 84,183千円  
(89,714千円)

各種媒体による情報発信に必要な経費を計上

- ・広報たかやまの発行、FM・CATVにおける番組制作・配信

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 大学連携センター事業の見直し 14,250千円  
(17,200千円)  
大学連携センターの事業の一部をSDGs推進事業へ移行するなど、事業内容を見直し
  
- ラジオ・CATVの番組再編 39,280千円  
(46,510千円)  
週刊たかやまニュースの終了や新番組の制作など、ラジオやCATVの番組再編を行うとともに事業費を精査

# 総務部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	736,187	774,765	38,578	5.24

### 主な増減理由

・ 選挙執行経費の増 (参議院議員選挙、市長選挙及び市議会議員補欠選挙)	80,830千円
・ RDSサーバーシステムの機器リース化による増	12,896千円
・ GIGAスクール対応通信環境の強化による増	9,291千円
・ 情報システム更新等の見直しによる減	△27,100千円
・ 選挙執行経費の減(衆議院議員選挙)	△28,500千円

## 要求に関する基本方針

- 行政を取り巻く環境の変化に的確に対応できる職員の育成
- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による市民サービスの向上・業務の効率化
- 持続可能なまちづくりに向けた効率的かつ効果的な行政経営の推進
- 市民の生命・身体及び財産を災害から守るための体制整備

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

<安全への備えと災害時の対応強化>  
<着実な計画の推進>

- 防災訓練の実施 3,892千円  
(3,850千円)
  - 地震等を想定した実践的な防災訓練に必要な経費を計上
  - ・ ペット同行訓練、外国人避難者を想定した訓練の実施
- 災害対策事業の推進 105,404千円  
(119,620千円)
  - 災害の未然防止と災害発生に備え防災体制の充実を図るために必要な経費を計上
  - ・ ライフライン保全の推進
  - ・ 防災士の育成の推進

○ 適正な人事管理 34,100千円  
(34,273千円)  
職員採用など人事管理に必要な経費を計上

○ 職員の意識改革と資質向上の推進 18,770千円  
(18,900千円)

職員研修や人事交流に必要な経費を計上

- ・ 職員一人ひとりの職責、役割意識を高め組織力の向上に資する研修の充実
- ・ 職員の意欲向上や適正かつ効率的な事務執行に資する研修の充実
- ・ 行政課題（DX推進など）に的確に対応できる職員の育成
- ・ 職員のオンライン研修の推進

○ 公共施設等総合管理計画の推進 400千円  
(200千円)

公共施設等総合管理計画の推進、指定管理者制度の運用に必要な経費を計上

○ 行政経営の推進 500千円  
(705千円)

行政経営の推進に必要な経費を計上

○ DXの推進 416,800千円  
(415,516千円)

DXの推進に必要な経費を計上

- ・ DX推進部会を主軸とした全庁的な取り組みの推進
- ・ 行政手続のオンライン化の推進
- ・ AI（人工知能）やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の活用
- ・ 公共施設における公衆無線LANの整備
- ・ テレワークやテレビ会議の推進
- ・ セキュリティ対策の徹底

情報システムの整備、運用に必要な経費を計上

- ・ 各種制度改正に伴う総合行政情報システム等の改修
- ・ 情報システムの運用保守 ほか

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

○ 情報システム更新等の見直し 0千円  
(27,100千円)

情報システムの安全性や耐久度を確認した上で、更新時期を後年度へ先送り

# 財 務 部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	6,402,502	5,804,521	△ 597,981	△ 9.34

### 主な増減理由

・高根多目的センター設計等委託料・土地購入費の増	54,310千円
・令和6年度評価替に伴う航空写真撮影業務の増	45,692千円
・市債の計画的借入れ及び利率見直しによる公債費の減	△274,504千円
・土地購入費の減	△378,400千円

## 要求に関する基本方針

- 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- 社会情勢の変化や行政課題に対応した財産管理の推進
- 公平な課税と税収納率の向上

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

<長期的な視点による公共サービスの提供>  
<着実な計画の推進>

- 適正な財政運営と財源の確保 3,100千円  
(3,300千円)
  - 健全で持続可能な財政基盤の確立を図るための適正な財政運営に必要な経費を計上
  - ・ 財政管理に係る事務
- 適正な公共調達の実施 801千円  
(978千円)
  - 公平・公正な契約事務の遂行や検査によるチェック体制の確立に必要な経費を計上
  - ・ 契約検査に係る事務
- 庁舎等の適正管理 423,251千円  
(417,232千円)
  - 庁舎等の適正管理、行政事務の円滑な実施に必要な経費を計上
  - ・ 庁舎、公用車等の維持管理
- 財産管理の適正化と効率的な運用 55,597千円  
(443,278千円)
  - 公有財産の適正な管理と未利用財産の活用や処分に必要な経費を計上
  - ・ 市営墓地の管理
  - ・ 市有施設の火災保険の加入
  - ・ 普通財産の管理や活用、処分のための測量業務
  - ・ 不要建物の解体

○ 公平な課税と税収納率の向上

80,773千円  
(37,000千円)

固定資産税等の公平・公正な賦課及び徴収率の向上のために必要な経費を計上

- ・ 字絵図書替
- ・ 家屋所在地番等調査
- ・ 固定資産現況調査等
- ・ 土地鑑定評価
- ・ 航空写真撮影・写真データセットアップ
- ・ コンビニ収納代行委託等

**事業見直しの概要**

( ) は前年度予算額

○ 公用車運用の見直しによる台数の削減

56,910千円  
(58,166千円)

公用車運用の見直しを図り、台数削減により車両保有に係るコストを削減

# 市民活動部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,112,390	1,057,922	△ 54,468	△ 4.90

### 主な増減理由

・市民プール再整備に関する経費の増	20,000千円
・スポーツ施設廃止に伴う解体工事の増	22,600千円
・東京2020オリンピック・パラリンピック終了に伴う減	△3,080千円
・各種団体との見直し協議による補助金の減	△3,351千円
・各種委託事業の見直しによる委託料の減	△12,760千円
・奥飛騨総合文化センター外壁改修工事の減	△40,000千円

## 要求に関する基本方針

- 協働のまちづくりの推進による地域コミュニティの活性化
- 学びの場の充実と学んだ成果を地域づくりに活かす生涯学習の推進
- 日々の暮らしやまちづくりに活かす文化芸術活動の推進
- スポーツが身近となる機会の創出

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

- <多様な働き方に適応した労働環境の構築>
- <心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現>
- <文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出>
- <多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化>
- <安全への備えと災害時の対応強化>

- 協働のまちづくりの推進 262,561千円  
(266,410千円)

地域づくり活動及び市民活動の促進と協働の推進に必要な経費を計上

- ・まちづくり協議会の地域の課題解決に向けた取り組みへの支援
- ・市民活動団体の社会の課題解決につながる活動への支援
- ・まちづくりを担う人材の育成
- ・町内会の維持管理する防犯灯の設置等に要する費用の助成

- 男女共同参画の推進 1,109千円  
(1,112千円)

第5次高山市男女共同参画基本計画の推進に必要な経費を計上

- ・女性活躍推進を図るための講演会や講座などの開催
- ・講師派遣などによるワーク・ライフ・バランスの推進



- 交通安全の推進 3, 187千円  
(3, 540千円)  
交通安全に対する意識の醸成、交通安全対策に必要な経費を計上  
・交通安全教室の実施
- 結婚の支援 12, 326千円  
(12, 730千円)  
結婚につながる出会いの機会の創出や結婚しやすい環境の充実に必要な経費を計上  
・結婚相談の実施、結婚支援イベント開催団体に対する助成  
・結婚新生活世帯に対する助成
- 都市交流の促進 1, 130千円  
(2, 500千円)  
都市交流の促進を図るために必要な経費を計上  
・国内の姉妹友好都市との交流促進
- 平和に関する意識の醸成 462千円  
(896千円)  
平和に対する意識の高揚を図るために必要な経費を計上  
・高山市平和の日や平和都市宣言の啓発
- 生涯学習の推進 432, 000千円  
(483, 158千円)  
生涯学習機会の提供や生涯学習施設の維持管理に必要な経費を計上  
・地域づくり型生涯学習の推進  
・市民憲章、人権啓発の推進  
・子ども夢創造事業（科学）の実施  
・二十歳を祝うつどいの開催  
・新成人（18・19歳）意識啓発の推進  
・生涯学習施設の整備と維持管理 ほか
- 文化芸術の振興 41, 899千円  
(57, 550千円)  
文化芸術の市民生活への浸透と文化芸術の振興を図るために必要な経費を計上  
・市民の自主的な文化芸術活動に対する支援  
・市美術展覧会の開催  
・市有美術品の活用  
・子ども夢創造事業（文化芸術）の実施  
・文化芸術鑑賞事業の実施  
・飛騨高山文化芸術祭に向けた準備
- スポーツ活動の充実 19, 908千円  
(30, 400千円)  
スポーツ機会の提供や競技力向上などに必要な経費を計上  
・子ども夢創造事業（スポーツ）の実施  
・地域スポーツの推進  
・スポーツ少年団、スポーツ大会開催に対する支援  
・スポーツ指導員資格取得に対する支援
- スポーツ施設の整備 263, 018千円  
(229, 622千円)  
スポーツ施設の整備や維持管理に必要な経費を計上  
・スポーツ施設の整備と維持管理  
・スポーツ施設廃止に伴う解体工事  
市民プールの再整備に必要な経費を計上

- 高地トレーニングエリアの整備と機能強化 15,985千円  
(19,916千円)
- 高地トレーニング施設の整備や維持管理、活用のために必要な経費を計上
- ・高地トレーニング施設の整備と維持管理
  - ・トップアスリート受入れ体制の整備及び利用の促進

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 社会教育団体等に対する補助金の見直し(10団体) 11,449千円  
(14,800千円)
- 各社会教育団体等の事業について、効果の検証を行い、団体運営補助から事業補助に切り替え
- 高齢者交通安全推進協議会補助金、友好都市提携委員会補助金、子ども会育成事業補助金、女性団体活動補助金、少年補導センター補助金、市民憲章推進協議会補助金、青少年育成市民会議補助金、PTA連合会補助金、勤労青少年ホーム連絡会補助金、文化振興事業支援補助金
- 「高山市近代文学館」調査・研究業務委託の見直し 600千円  
(1,200千円)
- これまでの事業効果の検証を行い、調査研究結果等を他の広報紙と連携し掲載するなど、効果的な方法に見直し
- 市民文化芸術鑑賞事業委託の見直し 20,000千円  
(30,000千円)
- これまでの事業効果の検証を行い、事業内容を見直すとともに事業費を精査
- 子ども夢創造事業（文化芸術・スポーツ・科学）の見直し 8,454千円  
(11,000千円)
- これまでの事業効果の検証を行い、体験手法の見直しや事業費を精査
- スポーツ大会等開催業務委託の見直し 660千円  
(820千円)
- これまでの事業効果の検証を行い、参加記念品などの事業費を精査

# 福祉部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	9,211,719	9,255,574	43,855	0.48
介護保険事業特別会計	9,562,276	9,687,993	125,717	1.31

### 主な増減理由

・ 児童福祉施設整備費助成事業費（たんぽぽ保育園）の増	179,355千円
・ 公立保育園運営事業費等の増	57,691千円
・ 児童館運営事業費の増	25,718千円
・ 介護人材確保事業費の増	11,460千円
・ 高齢者いきがづくり推進事業費の減	△8,325千円
・ 生活保護費の減	△30,000千円
・ 子育て住環境整備事業費の減	△30,000千円
・ 児童手当給付事業費等の減	△63,000千円
・ 福祉医療給付事業費の減	△97,831千円
・ 保険給付費の増（介護特会）	102,055千円

## 要求に関する基本方針

- 住み慣れたまちに快適に安心して住み続けるための支援
- 子どもが健やかに育つ環境整備の推進
- 介護予防の推進及び安定した介護サービスを提供する体制の整備

## 要求のポイント

（ ）は前年度予算額

- <多様な働き方に適応した労働環境の構築>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>
- <心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現>
- <安心して子育てができる環境の充実>

- 総合的な相談支援 34,553千円  
(37,304千円)
  - 福祉サービス総合相談支援センターの運営に必要な経費を計上
    - ・ 一般相談、生活困窮者相談、障がい者（児）相談
- 生活困窮者への支援 560,001千円  
(590,001千円)
  - 適切な生活保護制度運営に必要な経費を計上
    - ・ 生活保護受給者への支援

- 障がい者が安心して快適に暮らせる環境づくり  
 2, 194, 387千円  
 (2, 176, 518千円)
- 障がい福祉サービス等の提供に必要な経費を計上
- ・障がい福祉サービス給付
- 障がい者の自立した地域生活と社会参加の促進に必要な経費を計上
- ・障がい者就労に対する支援
  - ・非常用電源装置を必要とする障がい者への支援
- 子どもへの途切れのない支援体制の強化  
 513, 500千円  
 (574, 431千円)
- 保健、福祉、教育が連携した、子どもへの支援体制に必要な経費を計上
- ・障がい児通所支援事業所等への支援
  - ・要保護児童への対応やひとり親家庭等に対する支援
- 安心して子育てができる環境の整備  
 1, 992, 250千円  
 (2, 036, 642千円)
- 子どもが健やかに育つ環境づくりに必要な経費を計上
- ・放課後児童クラブ、つどいの広場、ファミリーサポート事業などの運営
  - ・子どもの遊び場や居場所づくりに対する支援
- 良好な保育環境の確保  
 2, 654, 085千円  
 (2, 373, 429千円)
- 良好な保育環境の確保及び新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費を計上
- ・私立保育園の園舎整備やICT化に対する助成
  - ・荘川保育園の園舎整備
- 高齢者の安全で安心した生活の支援  
 465, 885千円  
 (485, 417千円)
- 高齢者の安全で安心な生活や生きがいつくりの支援に必要な経費を計上
- ・成年後見制度の利用促進、終活支援
  - ・老人福祉施設の運営、維持管理
  - ・介護人材確保、介護事業所の事業継続に対する支援
- 健全な介護保険事業の運営  
 9, 088, 617千円  
 (8, 990, 137千円)
- 介護認定、保険料の賦課徴収、介護給付に必要な経費を計上
- ・介護サービス等の給付、介護認定審査会の開催 ほか
- 介護予防の推進及び包括的な支援の実施  
 594, 866千円  
 (568, 459千円)
- 高齢者の介護予防、包括的支援体制の整備に必要な経費を計上
- ・要支援者等に対する介護予防・生活支援に関する事業の実施
  - ・高齢者健康教室の開催、自主活動の支援、認知症予防施策の推進
  - ・在宅医療と介護・福祉の連携の推進
  - ・成年後見制度の利用に対する支援

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 心配ごと相談員の終了 0千円  
(1, 224千円)  
福祉総合相談窓口の充実により対応できるものと判断し、心配ごと相談員を終了
- 障がい児等体験学習事業の終了 0千円  
(1, 200千円)  
障がい児福祉サービスを提供する環境が充実してきたことを踏まえ、事業終了
- 夜間保育事業の終了 0千円  
(16, 400千円)  
これまでの事業効果の検証結果を踏まえ、新たに実施予定のファミリーサポート事業に発展的に整理統合
- 多世代同居促進事業補助金の終了 0千円  
(30, 000千円)  
令和3年度末までの制度としていることから、予定どおり制度終了
- 温泉保養施設等利用費補助金の見直し 17, 000千円  
(25, 000千円)  
高齢者の活動多様化や閉じこもり防止の効果などを踏まえ、事業内容を見直すとともに事業費を精査

# 市民保健部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,831,642	1,797,164	△ 34,478	△ 1.88
国民健康保険事業 特別会計(事業)	8,527,044	8,685,869	158,825	1.86
国民健康保険事業 特別会計(直診)	200,045	306,800	106,755	53.37
後期高齢者医療 事業特別会計	1,311,456	1,491,570	180,114	13.73

### 主な増減理由

- ・ 荘川火葬場の施設改修工事の増 7,387千円
- ・ 直営診療所の電子カルテシステム更新の増 55,143千円
- ・ 南高山地域医療センター整備に関する経費の増 72,286千円

## 要求に関する基本方針

- 新火葬場建設の推進
- 健康寿命の延伸
- 地域医療体制の充実
- 国民健康保険制度の円滑な運営

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

〈利便性の高い都市機能とネットワークの構築〉  
 〈心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現〉

- 火葬場の運営 58,577千円  
 (51,580千円)  
 市営火葬場の維持管理に必要な経費を計上  
 ・ 火葬場の設備等の改修と維持管理
- 新火葬場建設の推進 284千円  
 (340千円)  
 新火葬場の建設準備に必要な経費を計上

○ 感染症対策の強化、市民の健康意識の醸成と健康増進 599,907千円  
(599,747千円)

感染症対策の強化、市民の健康増進のために必要な経費を計上

- ・健康づくりの推進
- ・母子保健事業の推進
- ・健康診査、がん検診の実施
- ・予防接種の実施
- ・感染症対策の強化

○ 後期高齢者医療における保健事業の推進 53,047千円  
(53,650千円)

後期高齢者の健康増進のために必要な経費を計上

- ・すこやか健診、さわやか口腔健診の実施

○ 地域医療体制の確保 592,422千円  
(474,572千円)

地域医療体制の充実に必要な経費を計上

- ・国保診療所、休日診療所の運営と診療所内の感染対策の継続
- ・南高山地域の拠点となる診療所整備、地域外来・検査センターの運営
- ・国保診療所における電子カルテシステムの更新
- ・中核病院における医師の確保・高度医療機器の整備等に対する助成
- ・在宅当番医制、病院群輪番制、救命救急センターの運営に対する助成

○ 国民健康保険制度の運営 8,685,869千円  
(8,527,044千円)

国民健康保険事業の円滑な実施及び運営に必要な経費を計上

- ・特定健康診査など保健事業の推進
- ・子ども（未就学児）に係る国民健康保険料（均等割）の軽減

○ マイナンバーカードの普及促進 5,204千円  
(57,100千円)

マイナンバーカードの交付及び普及促進に必要な経費を計上

- ・各種証明書のコンビニ交付の利用啓発
- ・マイナンバーカードの取得啓発

**事業見直しの概要**

( ) は前年度予算額

○ 食生活改善連絡協議会補助金の見直し 300千円  
(500千円)

これまでの事業効果の検証を行い、団体運営補助から事業補助への切り替えを進めるともに事業費を精査

# 環境政策部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,166,839	1,216,205	49,366	4.23

### 主な増減理由

・ごみ処理施設建設事業の増

79,204千円

## 要求に関する基本方針

- 自然エネルギーによるまちづくりの推進
- 地球温暖化対策の推進による温室効果ガス排出の削減
- 自然と共生するまちを目指した生物多様性保全の推進
- 自然公園の適正管理による安全で快適な利用の推進
- 公害の発生防止
- ごみ減量化の推進
- ごみ処理施設の適正な維持管理
- ごみ処理施設建設の推進

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

<地域特性の保全、活用、創出>  
<利便性の高い都市機能とネットワークの構築>

- 自然エネルギーを活用したまちづくりの推進

15,514千円  
(18,350千円)

自然エネルギー活用の普及促進に必要な経費を計上

- ・ 自然エネルギー活用の普及啓発
- ・ 積まマイカーの運行によるエネルギーの地産地消の促進
- ・ ペレット・薪・チップなど木質バイオマスストーブ、ボイラーの導入支援
- ・ 地域主導による自然エネルギーの活用支援

- 地球温暖化対策の推進

6,371千円  
(6,110千円)

地球温暖化対策の推進に必要な経費を計上

- ・ クリーンエネルギー自動車の普及促進



- 生物多様性保全の推進 8, 280千円  
(9, 185千円)  
自然環境の保全や生物多様性保全の意識啓発に必要な経費を計上  
・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習  
・ いのちの森づくり (苗木植樹等)  
・ 特定外来生物の防除
- 自然公園の保全と活用 100, 835千円  
(96, 409千円)  
自然公園等の保全と活用を図るために必要な経費を計上  
・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森の維持管理  
・ ジオパーク、ユネスコエコパークの推進  
・ 中部山岳国立公園活性化事業の推進
- 快適に暮らせる環境の整備 3, 459千円  
(6, 535千円)  
公害発生の防止に必要な経費を計上  
・ 河川水質の監視、騒音・悪臭苦情に係る調査
- 資源循環型社会の実現 922, 272千円  
(949, 980千円)  
ごみの収集、焼却、埋立、減量化、資源化や施設の維持管理等に必要な経費を計上  
・ 家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化の推進  
・ 長期修繕計画に基づくごみ焼却施設の保守点検及び修繕
- ごみ処理施設建設の推進 159, 474千円  
(80, 270千円)  
ごみ処理施設建設に必要な経費を計上  
・ ごみ処理施設建設工事  
・ 敷地造成工事

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 環境政策研修の終了 0千円  
(2, 640千円)  
2年間にわたり行った環境政策に関する研修の終了
- 特定外来生物防除委託業務の見直し 3, 700千円  
(4, 000千円)  
これまでの事業効果の検証を行い、さらなる防除作業の効率化を図るため、委託方法等を大きく見直し
- 飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金の見直し 13, 500千円  
(14, 500千円)  
飛騨山脈ジオパーク推進協議会のあり方を改めて明確化するとともに、事業の推進方法を見直し

# 農 政 部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,505,744	1,044,121	△ 461,623	△ 30.66
地方卸売市場 事業特別会計	27,800	86,644	58,844	211.67

### 主な増減理由

・ 農業振興地域整備計画推進事業費の増	7,326千円
・ 全国和牛能力共進会に関する経費の増	5,737千円
・ 家畜人工授精事業費の増	4,180千円
・ 飛騨食肉センター助成事業費の減	△ 23,899千円
・ 農業施設等整備費助成事業費の減	△ 25,673千円
・ 繁殖牛舎整備費助成事業費の減	△ 31,575千円
・ 過年農業施設災害復旧事業費の減	△ 400,000千円
・ 市場建設に関する経費の増（市場特会）	58,844千円

## 要求に関する基本方針

- 活気ある第一次産業産地づくりと担い手の育成・確保
- ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり
- 地域ぐるみでの農地・施設の保全と鳥獣害防止対策の強化

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

<地域産業の担い手確保と生産性の向上>  
<既存産業の強化と新たな産業の創出>

- 農業振興地域整備計画の見直し 14,501千円  
(7,175千円)

農業振興地域整備計画の見直しに必要な経費を計上  
・ 農業振興地域整備計画の見直しに向けた基礎調査の実施

- 鳥獣害防止対策の推進 76,801千円  
(82,500千円)

鳥獣による農作物への被害の防止に必要な経費を計上  
・ 有害鳥獣捕獲の推進  
・ 農作物被害を防止するための鳥獣被害防止柵の設置に対する助成  
・ 捕獲技術者の育成・確保

- 担い手の育成・確保、新たな技術の導入の推進 62, 660千円  
(66, 030千円)  
担い手の育成・確保、新たな技術の導入の推進に必要な経費を計上  
・ 就農に向けた研修等担い手への支援  
・ 新規就農者等担い手に対する助成  
・ スマート農業技術の導入に対する支援
- 農業用施設の長寿命化及び防災対策の推進 65, 255千円  
(65, 550千円)  
県の事業計画に基づく事業費負担に必要な経費を計上  
・ 県営中山間地域総合整備事業（4地区）の推進  
・ 県営かんがい排水整備事業（中根地区）の着手  
・ 県営ため池防災対策事業（宮川防災ダム）の着手  
・ 県営ため池等整備事業（小屋名第2ため池）の着手
- 家畜防疫事業の推進 28, 536千円  
(29, 667千円)  
家畜伝染病対策の推進に必要な経費を計上  
・ 豚熱（CSF）及び家畜伝染病の予防対策を実施  
・ 家畜診療業務の充実
- 家畜改良事業の増進 33, 249千円  
(22, 280千円)  
更なる飛騨牛ブランド化や受胎率の向上に必要な経費を計上  
・ 家畜人工授精業務の効率化  
・ 全国和牛能力共進会に向けた支援
- 地方卸売市場整備の推進 86, 644千円  
(27, 800千円)  
地方卸売市場整備に必要な経費を計上  
・ 市場建設に向けた設計等

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 水稻病害虫共同防除事業補助金の縮減 1, 800千円  
(2, 000千円)  
これまでの事業効果の検証を行い、支援内容等を精査
- 繁殖牛舎建設支援事業補助対象の精査による減額 41, 425千円  
(73, 000千円)  
対象事業を精査し、家畜の増頭等に効果のある設備等に限定して助成

# 林 政 部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	896,874	694,064	△ 202,810	△ 22.61

### 主な増減理由

・ 森林整備に関する経費の増	75,930千円
・ 林道、生活環境保全林の維持管理に関する経費の増	29,510千円
・ 市産材の利用促進に関する経費の減	△ 4,750千円
・ 過年林業施設災害復旧事業の減	△ 303,500千円

## 要求に関する基本方針

- 100年先の森林づくりに向けた森林境界明確化と森林整備の推進
- 市産材利用に向けた木材産業づくりの推進
- 森林・林業を支える人づくりの支援

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

<既存産業の強化と新たな産業の創生>  
<地域産業の担い手確保と生産性の向上>

- 100年先を見据えた森林づくりの推進 335,167千円  
(281,300千円)
  - 災害に強い森林づくりの推進に必要な経費を計上
    - ・ 森林境界の明確化の推進
    - ・ 重点区域森林整備の推進
    - ・ 森林経営管理制度に基づく森林整備の推進
- 市産材の利用促進 45,250千円  
(50,000千円)
  - 市産材の利用促進を図るために必要な経費を計上
    - ・ 市産材を利用した木造建築物への助成
- 林業担い手の育成・確保 17,650千円  
(5,200千円)
  - 林業担い手の育成・確保の取り組みに必要な経費を計上
    - ・ 市内中高生対象の森林・林業などの職業体験ツアーの開催
  - 森林・林業に係る普及啓発の取組に必要な経費を計上
    - ・ 東京都千代田区との協定に基づく交流事業の実施など

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 匠の家づくり支援事業補助金の見直し 38,500千円  
(45,250千円)

これまでの事業効果の検証を行い、補助対象となる市産材の定義、補助限度額等の内容を大きく見直し

- 美しい森林づくり実行委員会負担金の見直し 300千円  
(1,300千円)

これまでの取り組みの成果等を踏まえ、今後の実行委員会のあり方を検討するとともに、担うべき事業内容を大きく見直し

# 商 工 労 働 部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,107,036	1,913,590	△ 193,446	△ 9.18

### 主な増減理由

・新型コロナウイルス感染症経済対策の増	107,600千円
・地域経済戦略に係る各種調査の減	△9,000千円
・伝統的工芸品産業後継者育成事業補助金及び伝統的工芸品産業振興貸付金の減	△9,500千円
・勤労者融資貸付金の減	△39,000千円
・賑わい創出施設（仮称）整備の減	△123,410千円
・中小企業融資預託金等の減	△126,274千円

## 要求に関する基本方針

- 中小企業の経営の安定化のための融資事業の推進
- ポストコロナにおける地場産品の効果的な販売促進活動の推進
- 伝統的工芸品産業等の技術の継承、後継者育成に向けた施策の推進
- 中心市街地の活性化に向けた施策の推進
- 企業誘致対策の推進
- 産業を担う人材の確保・育成
- 新型コロナウイルス感染症に対応した経済対策の実施

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

- <多様な働き方に適応した労働環境の構築>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>
- <品質・価値の向上と情報発信>
- <既存産業の強化と新たな産業の創出>
- <地域循環型経済の構築>

- 中小企業等融資事業の推進 957,876千円  
(1,084,150千円)

中小企業者、勤労者向けの低利融資の実施に必要な経費を計上

- ・小口融資、経営安定特別資金融資
- ・勤労者生活安定資金融資
- ・事業承継関連融資制度に対する利子・保証料補給

- 起業家の受入環境等の整備 76,258千円  
(78,200千円)  
 起業家の育成・支援に必要な経費を計上  
 ・ 起業家に対する支援、創業支援資金融資  
 ・ タウンマネージャーの設置、インキュベーション施設の運営
- 地域経済構造分析を踏まえた施策の推進 4,290千円  
(13,270千円)  
 官民連携による市内資金循環等の取り組みの推進に必要な経費を計上  
 ・ 地域経済懇談会の実施  
 ・ 高度人材の育成
- 地場製品の販売促進活動の推進 9,717千円  
(15,200千円)  
 地場製品等の積極的な宣伝・販路拡大に必要な経費を計上  
 ・ 飛騨高山展、オンライン版飛騨高山展に対する支援
- 伝統的工芸品産業等の振興 39,795千円  
(49,595千円)  
 伝統的工芸品産業等の振興、後継者育成等に必要な経費を計上  
 ・ 後継者育成事業、伝統的工芸品産業団体に対する支援 ほか  
 ・ 飛騨高山の名匠認定
- 中心市街地の活性化 45,426千円  
(168,000千円)  
 にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の活性化に必要な経費を計上  
 ・ 賑わい創出施設（仮称）の運営  
 ・ まちづくり会社が行う中心市街地活性化事業に対する支援  
 ・ 商店街の空き店舗活用や景観形成に対する支援
- 企業誘致対策の推進 70,088千円  
(88,235千円)  
 企業誘致の推進に必要な経費を計上  
 ・ サテライトオフィス等を活用した企業誘致活動
- 産業を担う人材の確保・育成 138,480千円  
(151,010千円)  
 U I J ターン就職する若者への支援、労働力確保に必要な経費を計上  
 ・ U I J ターン就職者に対する家賃・奨学金返済支援  
 ・ 地元就職の促進
- 新型コロナウイルス感染症に対する経済対策の推進 471,608千円  
(364,180千円)  
 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の支援に必要な経費を計上  
 ・ 新型コロナウイルス対策融資、助成 ほか

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 飛騨高山フェアinイオンの終了 0千円  
(2,230千円)  
 これまでの実施効果を踏まえて、当該催しでの地域産品販売を終了
- おもてなし環境整備事業補助金の見直し 1,000千円  
(1,500千円)  
 制度開始から一定の期間（5年間）が経過したことから補助率（1/2→1/3）及び  
 上限（750→500千円）を引き下げ

○ 団体運営補助から事業補助への転換 4, 730千円  
(5, 150千円)

補助目的やその積算根拠が明らかなものとなるよう、事業費に対する補助に切り替え

・高山商工会議所補助金

運営補助を廃止、事業補助の補助率(1/3→1/2)を引き上げ

・産業振興協会、飛騨木工連合会、木材開発事業費、飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合、県発明協会高山支会、雇用促進協議会補助金

運営補助から事業補助(補助率1/2)に切り替え

○ 特定創業支援事業補助金の見直し 43, 000千円  
(45, 000千円)

創業時の事業規模に応じた事業者負担となるよう補助率(10/10→1/2)を引き下げ

○ 岐阜県企業誘致推進協議会負担金の見直し 0千円  
(300千円)

これまでの企業展への共同出展などの実績・効果を踏まえ協議会を退会



# 建設部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	3,579,923	3,372,747	△ 207,176	△ 5.79

### 主な増減理由

・橋りょう長寿命化改良事業の増	86,500千円
・街路松之木千島線整備事業の増	121,965千円
・過年土木施設災害復旧事業の減	△759,000千円

## 要求に関する基本方針

- 高速道路網、地域間連絡道路網の整備促進による道路利用者の快適性向上
- 内環状線を構成する道路整備による中心市街地の渋滞緩和や利便性の向上
- 道路などの安全性確保と道路網の健全な維持（地域要望への対応）

## 要求のポイント

（ ）は前年度予算額

### <利便性の高い都市機能とネットワークの構築>

- 街路事業の推進 416,965千円  
(295,000千円)
  - 道路交通の円滑化を図るための街路整備に必要な経費を計上
    - ・松之木千島線（千島工区、松之木～江名子工区）
  
- 道路新設改良事業の推進 604,700千円  
(445,600千円)
  - 道路交通の円滑化を図るための道路新設改良に必要な経費を計上
    - ・旅行村線、中切54号線、千島花里線 ほか
  
- 道路維持修繕事業の推進 629,995千円  
(617,500千円)
  - 道路の安全性確保や道路網の維持に必要な経費を計上
    - ・道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕

○ 除雪対策事業の推進 674,274千円  
(649,200千円)

冬期間の交通確保を図る除雪対策に必要な経費を計上

・歩車道除雪委託、融雪剤購入、消融雪側溝整備、除雪車両の購入

○ 橋りょう長寿命化改良事業の推進 202,000千円  
(115,500千円)

橋りょうの長寿命化に必要な経費を計上

・長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの長寿命化修繕の実施  
(見座橋、不動橋、神通橋 ほか)

## 見直し事業の概要

( )は前年度予算額

○ 中部縦貫自動車道飛騨高山道路建設推進協議  
会補助金の見直し 519千円  
(1,090千円)

当該団体に係る前年度繰越金等の決算状況を踏まえ、令和4年度補助額を精査

# 飛騨高山プロモーション戦略部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,110,465	1,768,615	658,150	59.27
観光施設事業 特別会計	254,081	167,005	△ 87,076	△ 34.27

### 主な増減理由

- ・ふるさと寄附推進事業の増 466,460千円
- ・観光施設等整備の増 170,050千円
- ・観光協会等助成事業費の見直しによる補助金の減 △5,500千円
- ・乗鞍高原飛騨高山スキー場復旧整備の減（観光特会） △174,100千円

## 要求に関する基本方針

- 飛騨高山ブランド戦略を基軸としたプロモーションの展開
- アフターコロナを見据えた新たな観光需要の取り込み及び受入環境整備
- 地場産品等のブランド強化及び販路開拓支援
- 移住戦略に基づいたさまざまなアプローチによる関係人口の創出及び移住定住の促進

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

- <品質・価値の向上と情報発信>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>
- <既存産業の強化と新たな産業の創出>
- <着実な計画の推進>
- <文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出>

- 誘客宣伝の実施 290,354千円  
(227,389千円)  
観光宣伝、高山祭、各種イベントなどの誘客に必要な経費を計上
  - ・広域連携を含めた誘客宣伝事業の推進
  - ・観光関連団体の誘客宣伝事業等に対する助成
- 観光施設の運営 616,985千円  
(568,581千円)  
温泉施設、キャンプ場、スキー場等の運営及び施設整備等に必要な経費を計上
  - ・観光施設の運営、整備

- 飛騨高山ブランドの意識醸成と情報発信 18,221千円  
(21,160千円)
- 飛騨高山ブランドの確立を図るために必要な経費を計上
- ・ 飛騨高山ブランドを支える人材の育成や磨き上げ事業の実施
  - ・ 飛騨高山ブランド等地場産品の販路開拓に対する支援
- 飛騨高山への移住の促進 13,643千円  
(12,970千円)
- 移住促進を図るために必要な経費を計上
- ・ 移住者への支援
  - ・ 移住コーディネーターの設置
- ふるさと寄附の推進 938,360千円  
(471,900千円)
- ふるさと寄附の推進に必要な経費を計上
- 海外誘客促進と受入環境の充実 46,333千円  
(56,181千円)
- 海外誘客の促進及び受入環境の整備を図るために必要な経費を計上
- ・ 海外誘客事業の実施
  - ・ 滞在しやすい環境の整備
  - ・ インバウンド需要の復興と海外販路開拓支援
- 海外との交流促進と多文化共生の推進 9,024千円  
(3,485千円)
- 海外都市との交流・協力や多文化共生を推進するために必要経費を計上
- ・ 国際交流員の招致
  - ・ オンラインによる国際交流事業の推進
  - ・ 市民の多文化共生意識の醸成
  - ・ 外国人医療受入体制の整備

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金の見直し 14,000千円  
(15,000千円)
- コロナ禍における効果的な事業遂行を図るため、事業内容を見直すとともに金額についても精査
- 観光協会補助金の見直し 14,500千円  
(16,000千円)
- 自主財源の確保に努めるなど、主体的な団体運営を図るべきものとし、金額についても精査
- 海外誘客プロモーションの見直し 8,100千円  
(17,000千円)
- コロナ禍における海外へのプロモーションのあり方の検討を行い、事業内容を見直すとともに金額についても精査

# 都 市 政 策 部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,042,436	1,088,485	46,049	4.42

### 主な増減理由

・ 自主運行バスの運営経費の増	18,900千円
・ 都市計画図の作成に関する経費の増	57,000千円
・ 無電柱化整備事業費の増	218,000千円
・ 耐震診断義務化建築物耐震化促進事業の減	△189,800千円

## 要求に関する基本方針

- 将来都市構造を踏まえた土地利用の推進
- 持続可能な公共交通体系の構築
- 美しい景観と潤いのある都市空間の創出
- 安全で良質な住環境の整備

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

- < 利便性の高い都市機能とネットワークの構築 >
- < 地域特性の保全、活用、創出 >
- < 安全への備えと災害時の対応強化 >

- 公共交通の利便性の向上 6,000千円  
(0千円)
  - 公共交通の利便性向上に必要な経費を計上
    - ・ スマートフォンを活用したデマンドタクシー予約やバスロケーション（位置情報表示）システムなどの実証実験等
- まちなかの良好な景観創出のための整備 362,000千円  
(144,000千円)
  - 上之一町花里線無電柱化整備事業に必要な経費を計上
    - ・ 上之一町花里線無電柱化の推進
- 建築物の安全性の向上 39,310千円  
(229,100千円)
  - 住宅等の耐震化促進に必要な経費を計上
    - ・ 木造住宅等の耐震診断、建築物の耐震補強に対する支援

- 伝統技術の継承、後継者育成の促進 12,500千円  
(10,000千円)
- 伝統的大工技術等の活用促進に必要な経費を計上  
・ 伝統的な技法による建造物修景工事等に対する支援

### 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 各種協議会等の加入見直し (3団体) 0千円  
(101千円)
- 各種協議会等への加入による効果の検証を行い、効果が低いと判断したものについて退会
- 景観形成事業補助金等 (塀、生けがき、看板) 5,070千円  
の見直し (対象区域、補助率) (12,270千円)
- これまでの実施箇所について効果の検証を行い、対象区域を効果が高く、誘導すべき範囲に限定  
対象区域の限定に併せて補助率を統一 (一般地域 1/3、嵩上げ地域 2/3  
→ 全て 1/3)
- ブロック塀等対策事業補助金の終了 0千円  
(7,500千円)
- 令和3年度末までの時限措置としていることから、予定どおり制度終了
- 建築物耐震補強工事補助金 (木造住宅) の防火地域等における制度拡充の終了 10,800千円  
(12,600千円)
- 平成29年度から緊急重点啓発の誘導措置として実施していたが、5年が経過し、一定の効果があつたことを踏まえ、当該拡充分について制度終了
- 空家活用コンテスト及び空家等活用促進モデル事業補助金の終了 0千円  
(2,900千円)
- 空家問題への意識向上等に一定の効果があつたことを踏まえ、当該コンテストについて終了するとともに補助金についても制度終了

# 水道部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	232,431	210,778	△ 21,653	△ 9.32
水道事業 会計	3,283,469	3,133,010	△ 150,459	△ 4.58
下水道事業 会計	5,846,730	5,712,753	△ 133,977	△ 2.29

### 主な増減理由

・ 基幹管路耐震化事業の増	77,000千円
・ し尿処理施設改修工事（飛騨市委託）の減	△ 17,027千円
・ 宮導水路（若宮隧道）耐震対策事業の減	△ 250,000千円
・ 沈砂池長寿命化工事の減	△ 105,000千円

## 要求に関する基本方針

- 計画的な財政運営による上下水道事業の経営の安定化
- 安全安心な水を安定して供給するための施設整備
- 下水道施設整備及び水洗化の促進による生活環境の向上と公共用水域の水質保全
- 上下水道施設の防災対策の推進

## 要求のポイント

（ ）は前年度予算額

### <利便性の高い都市機能とネットワークの構築>

- 施設の耐震化と遠方監視機能の推進 258,431千円  
(344,883千円)

安全・安心な水を安定して供給するための施設整備に必要な経費を計上  
 ・ 施設の更新整備、遠方監視装置整備 ほか

- 基幹管路の耐震化と老朽管布設替の推進 572,910千円  
(632,965千円)

安全安心な水を安定して供給するための施設改良に必要な経費を計上  
 ・ 基幹管路の耐震化整備  
 ・ 老朽管の布設替工事、道路改良に伴う布設替工事  
 ・ 上水道GIS整備

○配水施設整備（拡張）の推進 37,064千円  
(37,315千円)

安全安心な水を安定して供給するための配水施設整備に必要な経費を計上  
・未給水地区の解消

○下水管きょ施設の整備、処理区域の統合の推進 327,891千円  
(330,237千円)

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るための管きょ施設整備に必要な経費を計上  
・マンホール蓋、マンホールポンプの更新  
・管きょ布設（西之一色町 ほか）  
・処理区域の統合

○下水処理施設の長寿命化 337,275千円  
(520,039千円)

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るための下水処理施設整備に必要な経費を計上  
・宮川終末処理場中央監視設備長寿命化工事  
・処理場設備の長寿命化工事

### 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

○危険物安全協会負担金の縮減 0千円  
(6千円)

他の公共施設と一括して加入することにより負担金を縮減



# 会 計 室

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,775	1,686	△ 89	△ 5.01

## 要求に関する基本方針

- 合理的な会計事務の推進

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

<着実な計画の推進>

- 適正な会計事務の推進

1,686千円  
(1,775千円)

適正な会計事務の実施に必要な経費を計上

- ・ 効率的な出納事務遂行のための職員研修会の実施
- ・ 公金管理の効率化
- ・ 歳計現金の適正な管理

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 岐阜県都市会計管理者会負担金の見直し

0千円  
(5千円)

会費によらない会の運営とし、負担金の徴収を一時停止

# 監査委員事務局

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	7,414	7,024	△ 390	△ 5.26

### 主な増減理由

- ・ 公平委員会運営費の減 △ 116千円
- ・ 監査事業費の減 △ 285千円

## 要求に関する基本方針

- 市民の視点に立った公平公正な監査等の充実

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

### <着実な計画の推進>

- 適正な行財政運営に資する監査等の実施 5,869千円  
(6,154千円)  
監査等の実施に必要な経費を計上

## 事業見直しの概要

( ) は前年度予算額

- 出張方法等の見直し 707千円  
(990千円)  
出張人数の削減、県内出張を公用車対応とすることにより出張に係る経費を縮減

# 議 会 事 務 局

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	30,482	31,750	1,268	4.16

### 主な増減理由

- ・ラジオ番組制作等業務の増 1,375千円
- ・友好都市上山市親善訪問による増 1,202千円
- ・議会改革に関するシンポジウムの終了による減 △1,100千円

## 要求に関する基本方針

- 市民にとってわかりやすく開かれた議会運営

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

### <着実な計画の推進>

- わかりやすく開かれた議会運営

31,750千円  
(30,482千円)

議会運営に必要な経費を計上

- ・議会・委員会等の中継
- ・議会広報紙の発行
- ・市民意見交換会（地域別・分野別）の開催
- ・議会情報の発信

## 事業見直しの概要

- 該当なし

# 教育委員会事務局

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,747,715	3,759,001	1,011,286	36.80
学校給食費 特別会計	387,700	383,371	△ 4,329	△ 1.12

### 主な増減理由

・小学校大規模改修事業費の増	775,304千円
・小中学校管理事業費の増	286,646千円
・荘川義務教育学校整備に向けた準備に関する経費の増	119,412千円
・教育系ICT機器導入に関する経費の減	△33,075千円
・高山市政記念館の耐震工事費の減	△93,917千円

## 要求に関する基本方針

- 教育の質や教育力の向上と地域全体による郷土教育の推進
- 時代の変化に対応した教育環境の整備
- 地域文化の継承や歴史的町並保存の推進

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

<夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み>  
<歴史・伝統の保存、継承、活用>

- 教育の充実 176,339千円  
(180,881千円)

教育の充実に必要な経費を計上

- ・教育支援センター設立に向けた体制づくり
- ・特別支援教育の充実
- ・外国語教育の充実
- ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施
- ・いじめ防止アドバイザーの派遣

- 教育環境の整備 322,700千円  
(322,324千円)

教育環境の整備に必要な経費を計上

- ・教材備品の購入
- ・教育系ICT機器の活用
- ・校務支援システムの活用
- ・教職員の負担軽減

- 安全・安心・快適な学校施設等の整備 2,094,388千円  
(1,020,510千円)
- 学校施設等の安全・安心・快適な環境整備に必要な経費を計上
- ・ 学校施設の長寿命化改修（江名子小・三枝小学校校舎、東山中学校屋内運動場）
  - ・ 荘川義務教育学校整備に向けた準備
  - ・ スクールバスの更新
- 幼児教育、高等教育の充実 202,430千円  
(203,330千円)
- 幼児教育、高等教育の充実に必要な経費を計上
- ・ 私立幼稚園における施設型給付費等の給付
  - ・ 私立高等学校、短期大学等に対する助成
  - ・ 高校通学等に対する助成
- 学校給食センターの運営 181,681千円  
(158,481千円)
- 児童生徒の心身の健全な発達を図るための給食運営に必要な経費を計上
- ・ 学校給食センターの運営
  - ・ 学校給食費の保護者負担の軽減
  - ・ 配送車の更新、老朽化施設の修繕
- 安全・安心な学校給食の提供 383,371千円  
(387,700千円)
- 安全・安心で魅力ある学校給食の提供に必要な経費を計上
- ・ アレルギー対応の強化と献立の充実
- 地域文化継承への支援 3,460千円  
(4,460千円)
- 地域の文化継承に必要な経費を計上
- ・ ユネスコ無形文化遺産等の継承支援
  - ・ 伝承芸能保存団体に対する助成
- 歴史的町並み保存の推進 85,753千円  
(179,540千円)
- 歴史的な町並み保存の推進に必要な経費を計上
- ・ 伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成
  - ・ 伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成
  - ・ 歴史的建造物群の耐震化対策
  - ・ 高山市政記念館の耐震改修
- 歴史・文化活用の推進 132,689千円  
(98,140千円)
- 歴史・文化を活用した地域づくりの推進に必要な経費を計上
- ・ 文化財施設（飛騨高山まちの博物館等）の維持管理
  - ・ 歴史資料の整理、公開活用

## 事業見直しの概要

- 小中学校の維持管理コストの縮減 317,758千円  
(338,100千円)  
電力消費の制御装置の設置や電気受給契約の見直しなどの効果を踏まえ、主に電気使用料に係るコストを縮減
  
- 教育振興会議の終了 0千円  
(800千円)  
総合教育会議など本市の教育について関係者が幅広く議論する場が充実していることから、当該会議を終了
  
- ふるさと伝承記録整備事業の整理統合 0千円  
(1,000千円)  
当初想定していた伝統芸能等の記録作成を終えたことから、令和4年度については予算要求を見送り
  
- 美しいふるさと認証事業における認証方法の見直し 0千円  
(100千円)  
平成25年度から令和3年度までの9年間にわたり、当初想定していた団体等の認証を終えたことから、令和4年度については予算要求を見送り

# 消 防 本 部

## 要求額

単位：千円、%

会計名	令和3年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	577,151	871,281	294,130	50.96

### 主な増減理由

・消防資器材整備事業の増	9,389千円
・消防水利施設整備・維持管理の増	14,488千円
・消防車両更新の増	276,602千円
・消防団退職報償金の減	△30,329千円

## 要求に関する基本方針

- 市民の安全・安心を確保するための消防装備の充実強化
- 消防団員等の安全確保と消防団施設や資器材の整備による消防団活動の充実強化
- 消防団員の士気高揚及び消防団員の確保

## 要求のポイント

( ) は前年度予算額

### <安全への備えと災害時の対応強化>

- 消防団活動の活性化 278,122千円  
(306,552千円)
  - 消防団活動の充実強化に必要な経費を計上
    - ・消防団出動手当等の充実
    - ・消防団活動充実のための支援
- 消防施設の更新整備 12,470千円  
(13,100千円)
  - 消防施設の更新整備に必要な経費を計上
    - ・消防団車庫の改築
    - ・消防署施設の改修
- 救急救命の推進 143,277千円  
(131,071千円)
  - 救急救命体制の充実を図るために必要な経費を計上
    - ・AED機器の維持管理
    - ・消防緊急通信指令、消防救急デジタル無線の維持管理

- 消防資器材の整備 28,278千円  
(17,200千円)
- 防災体制の充実を図るための資器材の整備に必要な経費を計上
- ・ 消防資器材の購入
  - ・ 初期消火資器材の整備
- 水利施設の整備 50,348千円  
(39,360千円)
- 防災体制の充実を図るための水利施設の整備に必要な経費を計上
- ・ 耐震性貯水槽の整備
  - ・ 防火水槽、消火栓の維持管理
- 消防車両の更新 293,102千円  
(16,500千円)
- 消防車両の更新に必要な経費を計上
- ・ 常備消防車両（はしご付き消防自動車）の更新
  - ・ 消防団車両の更新

## 事業見直しの概要

- 該当なし